

デイサービス「桜」

今年も、若々しい風が・・・看護師の卵たちが、やってきました・・・

毎年、5・6月になると、県立奈良病院付属看護学校の3年生が実習にきます。今年で4年目になり、利用者の方たちも慣れ、次々やってくる若々しい学生さんの来訪を楽しんでくださっているようです。1日だけの実習ですが、ゆっくりお話ししたり、ゲームや食事を一緒にして過ごします。病棟や外来など厳しい実習が多い看護実習の中で、家庭的な「桜」の実習は学生さんがリラックスしているようで、だんだん笑顔になってきます。毎回1つ用意してくれるゲームや折り紙なども利用者の方たちには新鮮な様子です。



毎回の反省会や実習記録の中では「皆さんが笑顔で生き生きしている」「家庭的で一人ひとり大事にされている」などと感じ取ってくれる学生が多く、職員も力をもらいます。また「病棟など看護の現場で、ここは条件は違っても、患者さんが笑顔でリラックスできる、一人ひとりに寄り添う看護をしたい」と語ってくると嬉しく思います。時には新鮮な疑問を投げかけてくれたり、私達の課題にも気づかせてくれる存在として、これからも歓迎していきたいです。

「桜」の魅力的なボランティアさん・・・手芸

ホームページやお便りなどでお伝えしていますが、デイ「桜」では、曜日により決まったアクティビティがいくつかあります。それらを目的に来られるご利用者もたくさんおられます。内容はもちろんですが、ボランティアさん個々の魅力によるところも大きいです。今回は、その中で「パッチワーク」など手仕事のボランティアさんをご紹介します。



毎週火曜日の午後、食事が終わるとお二人がこられます。とても朗らかで、フロアがぱあっと明るくなります。山田さんと松浦さんです。「さあ、新しい素敵なの持ってきたよ」季節に合わせた壁掛けや人形、バックや小物など和布やアメリカンコットンなど素敵な布を使っての手芸を教えてください。お二人は開所間もない頃から来てくださっています。始めは5・6人だった「生徒さん」も今や15人を越え、また始めは1回でできる小物だったのに、今や何週も掛けて作る大作を教えてください。みなそれぞれに作りたいものを、マイペースで作っているだけに「つぎどうしたらいいの」と、あちこちから声がかかり大忙しです。それでも笑顔で世間話、悩み相談もおおらかなうちに・・・おしゃれなファッションもみな目の楽しませてくださいます。